



平成 17年 2月 7日

平成 17年 3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

東洋紡績株式会社

(上場取引所 東証、大証、各第1部)

コード番号 3101

(本社所在地 大阪府)

(URL <http://www.toyobo.co.jp>)

代表者 取締役社長 津村 準二

問合せ先責任者 管理部長 高橋 寛

TEL (06) 6348 - 3091

米国会計基準採用の有無 無

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
法人税等は、簡便的に課税所得金額を算定し、法定実効税率を使用して計上しています。
- (2) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- (3) 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
連結子会社数 69社 持分法適用非連結子会社数 2社 持分法適用関連会社数 14社
連結範囲及び持分法の適用の異動状況 (平成16年10月1日以降の異動)
連結 (新規) 9社 (除外) 社 持分法 (新規) 1社 (除外) 1社

2. 平成 17年 3月期 第3四半期財務・業績の概況 (平成 16年 4月 1日 ~ 平成 16年 12月 31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

金額表示は百万円未満四捨五入による。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成17年 3月期 第3四半期	290,242	(6.4)	21,036	(15.9)	17,217	(31.6)
平成16年 3月期 第3四半期	272,832	()	18,155	()	13,087	()
(参考) 平成16年 3月期	373,066		25,856		17,491	

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期 (当期)純利益
	百万円	%	円 銭
平成17年 3月期 第3四半期	8,259	()	11 90
平成16年 3月期 第3四半期	()	()	
(参考) 平成16年 3月期	8,762		12 63

(注) 売上高、営業利益、経常利益以外の四半期経営成績の開示は当期から行っているため、前年同四半期については記載して
おりません。売上高、営業利益、経常利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期におけるわが国経済は、民間設備投資は堅調に推移したものの、IT関連需要に翳りが見え始め、原油価格、為替の動向とあわせ、景気回復の先行きに不透明感が増してきました。

このような環境のもと、当社グループの連結経営成績(9ヶ月間)は、上記のとおり、売上高が290,242百万円となり、利益面でも営業利益、経常利益がそれぞれ21,036百万円及び17,217百万円となるなど、概ね当初の計画どおりに推移し、前年同四半期(9ヶ月間)比増収増益となりました。

当第3四半期(3ヶ月間)の事業の種類別セグメントの概況は次のとおりです。

繊維事業は、エアバッグ用基布やタイヤコードなどの産業資材分野が引き続き順調に売上を伸ばすことができました。また、スポーツ用途向けテキスタイルやウールをベースにした複合糸など、当社の独自性のある商品の販売も大きく伸びました。しかしながら、汎用衣料用途などの不採算分野の縮小を進めたこともあり、全体としての売上は前年同四半期並みとなりました。

化成系事業は、フィルム、樹脂等が堅調に推移し、増収となりました。フィルム部門では、包装用、工業用とも売上を伸ばし、増収(前年同四半期比、以下同様)とすることができました。包装用フィルムでは、原料価格高騰に対応した製品価格の値上げや、オレフィンフィルムを中心とした拡販等により増収となりました。工業用フィルムでは、液晶用、光学用分野を中心に需要の伸びは鈍化してきましたが、販売は堅調を維持しており、売上を拡大することができました。高機能性樹脂記述“パイロン”は、磁気記録用途等が好調に推移した結果、増収となりました。成型用樹脂は、自動車分野を中心に引き続き引き合いは活発であり、海外への積極的な展開も相俟って、売上を大幅に伸ばすことが出来ました。一方、電子材料は、PDP等のデジタル家電製品に使用されるFPCの引き合いが一時的に減少した結果、大幅減収となりました。空気浄化分野では、各種フィルターが好調で、自動車、事務機器、家電関係を中心に売上を伸ばすことができました。

バイオ・メディカル・機能材事業は、総じて好調に推移しました。バイオ・メディカル分野では、バイオ事業が、好評の血糖値測定用酵素のほか、新たに上市した免疫診断システムが好調で、増収を確保し、医薬品製造受託事業も、当社の医薬品製造技術、品質試験技術が評価され、順調に推移しています。また、海水淡水化用逆浸透膜は、中東地域の大型施設での膜交換案件が集中し、大幅な増収となりました。機能材分野では、超高強力ポリエチレン繊維“ダイニーマ”は、釣糸、ロープ、ネット等が好調に推移しました。長繊維不織布は、土木、建築、自動車、各種資材向け需要が堅調で、増収となりました。

エンジニアリング、不動産、情報処理サービス、物流サービス等、その他事業も、それぞれ概ね計画どおりに推移しました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
平成17年 3月期 第3四半期	544,729	108,793	20.0	156 74
平成16年 3月期 第3四半期				
(参考) 平成16年 3月期	495,969	104,033	21.0	149 32

(注) 四半期財政状態の開示は当期から行っているため、前年同四半期については記載しておりません。

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末における総資産は、47,986百万円増加(当中間期末比、以下同様)し、544,729百万円となりました。これは主として、新規連結子会社の資産の増加によるものです。

負債は、資産と同様に新規連結子会社の負債の増加及び有利子負債の増加により、30,567百万円増加し、419,629百万円となりました。

株主資本は、5,144百万円増加し、108,793百万円となりました。これは主として、当四半期純利益 1,975百万円及びその他有価証券評価差額金の増加 3,066百万円によるものです。この結果、株主資本比率は20.0%となりました。

[参考] 平成 17年 3月期の連結業績予想 (平成 16年 4月 1日～平成 17年 3月 31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	393,000	21,000	12,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 17円 22銭

当期の業績は計画どおり推移しており、平成16年11月10日に公表した業績予想に変更はありません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

連 結 (要 約) 貸 借 対 照 表

(単位:百万円)

科 目	期 別	平成17年3月期 中間期末 (平成16年9月30日現在)	平成17年3月期 第3四半期末 (平成16年12月31日現在)	増 減	平成16年3月期 期 末 (平成16年3月31日現在)
		金 額	金 額	金 額	金 額
(資 産 の 部)					
流 動 資 産					
現金及び預金		12,098	17,786	5,688	14,913
受取手形及び売掛金		93,288	99,836	6,549	91,144
棚卸資産		77,914	87,699	9,785	74,306
その他の流動資産		12,481	13,079	599	14,717
流動資産合計		195,781	218,401	22,620	195,080
固 定 資 産					
有形固定資産		220,813	234,865	14,052	216,410
無形固定資産		3,148	3,295	147	3,222
投資その他の資産		77,001	88,168	11,167	81,258
固定資産合計		300,962	326,328	25,366	300,889
資産合計		496,743	544,729	47,986	495,969
(負 債 の 部)					
流 動 負 債					
支払手形及び買掛金		57,864	63,113	5,248	54,694
短期有利子負債		143,573	154,453	10,880	153,210
その他の流動負債		28,148	30,626	2,478	28,913
流動負債合計		229,585	248,192	18,607	236,816
固 定 負 債					
長期有利子負債		95,515	95,746	231	87,545
退職給付引当金		23,554	25,385	1,831	22,946
その他の固定負債		40,407	50,306	9,898	41,595
固定負債合計		159,476	171,436	11,960	152,086
負債合計		389,062	419,629	30,567	388,902
(少 数 株 主 持 分)					
少数株主持分		4,032	16,308	12,275	3,034
(資 本 の 部)					
資本金		43,341	43,341	-	43,341
資本剰余金		15,883	15,883	-	15,882
利益剰余金		4,254	5,849	1,594	2,017
土地再評価差額金		39,772	39,899	127	39,652
再評価準備金		6,331	6,330	1	6,333
その他有価証券評価差額金		9,873	12,939	3,066	12,185
為替換算調整勘定		15,383	14,593	790	14,975
自己株式		423	855	432	402
資本合計		103,648	108,793	5,144	104,033
負債、少数株主持分及び資本合計		496,743	544,729	47,986	495,969

連 結 (要 約) 損 益 計 算 書

(単位:百万円)

期 別 科 目	平成16年3月期 第3四半期 〔自平成15年4月1日〕 〔至平成15年12月31日〕	平成17年3月期 第3四半期 〔自平成16年4月1日〕 〔至平成16年12月31日〕	増 減		(参考) 平成16年3月期 〔自平成15年4月1日〕 〔至平成16年3月31日〕
	金 額	金 額	金額	増減率	金 額
売 上 高	272,832	290,242	17,410	6.4	373,066
売 上 原 価	213,180	225,262	12,082	5.7	291,440
売 上 総 利 益	59,652	64,981	5,328	8.9	81,626
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	41,497	43,945	2,447	5.9	55,770
営 業 利 益	18,155	21,036	2,881	15.9	25,856
営 業 外 収 益					
受 取 利 息 及 び 配 当 金	-	1,565	-	-	3,777
そ の 他 の 営 業 外 収 益	-	3,227	-	-	3,984
営 業 外 収 益 合 計	5,473	4,792	680	12.4	7,761
営 業 外 費 用					
支 払 利 息	-	2,493	-	-	3,807
そ の 他 の 営 業 外 費 用	-	6,118	-	-	12,319
営 業 外 費 用 合 計	10,541	8,612	1,929	18.3	16,126
経 常 利 益	13,087	17,217	4,130	31.6	17,491
特 別 利 益	-	1,843	-	-	20,010
特 別 損 失	-	4,168	-	-	21,103
税金等調整前四半期(当期)純利益	-	14,891	-	-	16,399
法 人 税 等	-	6,048	-	-	7,326
少数株主損益(: 損)	-	585	-	-	311
四半期(当期)純利益	-	8,259	-	-	8,762

事業の種類別セグメント情報

平成17年3月期第3四半期 (平成16年4月1日 ~ 平成16年12月31日)

(単位:百万円)

	織 事	維 業	化 成 品 事 業	バイオ・ メディカル・ 機能材事業	そ の 他 事 業	計	消去又は 全 社	連 結
・売上高及び営業損益								
(1) 外部顧客に対する売上高	123,479		102,900	35,574	28,289	290,242	-	290,242
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	308		197	-	6,901	7,406	(7,406)	-
計	123,786		103,097	35,574	35,190	297,648	(7,406)	290,242
営 業 費 用	119,950		90,130	30,450	33,974	274,504	(5,298)	269,206
営 業 利 益	3,836		12,967	5,124	1,216	23,143	(2,107)	21,036

消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、2,078百万円である。

【参考】

平成16年3月期[通期] (平成15年4月1日 ~ 平成16年3月31日)

(単位:百万円)

	織 事	維 業	化 成 品 事 業	バイオ・ メディカル・ 機能材事業	そ の 他 事 業	計	消去又は 全 社	連 結
・売上高及び営業損益								
(1) 外部顧客に対する売上高	168,356		123,825	46,520	34,365	373,066	-	373,066
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	406		120	-	8,937	9,463	(9,463)	-
計	168,762		123,945	46,520	43,301	382,529	(9,463)	373,066
営 業 費 用	163,113		109,700	39,962	40,933	353,709	(6,498)	347,210
営 業 利 益	5,648		14,245	6,558	2,368	28,820	(2,964)	25,856

消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、3,027百万円である。

(参考) 各事業に属する主要な製品は次のとおりである。

- 繊維事業 ... 天然繊維、合成繊維、繊維二次製品
- 化成製品事業 ... フィルム、合成樹脂、活性炭素繊維、化学製品、ゴム製品等
- バイオ・メディカル・機能材事業 ... バイオ試薬等の生化学品、医薬品、医用機材、機能材等
- その他事業 ... 建物・機械等の設計・施工、不動産、情報処理サービス、物流サービス等